

平成27年度行政評価シート【個表】

平成 27 年 6 月 24 日

評価対象事業		評価者	政策創造課	樋口 秀之
経企-05 政策研究事業		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	主管課 政策創造課 関連課	
総合計画上の位置付け	分野	行財政運営	施策の方針	行財政運営

1 事業の目的

対象	市民等
意図	地方自治法の主旨に即し、地域における総合的かつ計画的な行政運営を図るため。
効果	基本構想に掲げた将来都市像「古都としての風格を保ちながら、生きる喜びと新しい魅力を創造する。」

2 平成26年度に実施した事業の概要

・庁内において種々の政策形成の段階において必要な調査研究等を行い、課題を解決するために必要な提案及び助言を行った。
---

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度当初予算		26年度決算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	177,243人	80,676世帯	177,464人	80,368世帯	・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数					
運営資源状況	当初予算(千円)	6,440	決算値(千円)	5,963	
	国県支出金		国県支出金		
	地方債		地方債		
	その他	3	その他		
	一般財源	6,437	一般財源	5,963	
	人員配置数	4.0	人員配置数	3.8	
事業経費運営	人件費(千円)	30,573	人件費(千円)	28,562	
	総事業費(千円)	37,013	総事業費(千円)	34,525	
	市民1人当りの経費(円)	209	市民1人当りの経費(円)	195	
	対象者1人当りの経費(円)		対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

平成26年度事業実施にあたっての課題	政策課題の解決に必要な調査研究体制について引き続き検討を進める。長寿社会のまちづくりでは、分譲地の課題解決に対しこれまでの取組を再度整理し、明確な将来ビジョンの形成に向けて進める必要がある。鎌倉ウェディングでは、公共施設を活用したウェディングの骨格やイメージを作成し、活用モデルの整理・検討を行い、実施に向けた具体的検討に入る。かねてより必要が叫ばれるオープンデータの推進体制等の整備を行う。		
課題解決のために行った平成26年度の取組	平成25年度に引き続き職員プロジェクトチームによる調査研究である「鎌倉草創塾」に取り組んだ。長寿社会のまちづくりでは、平成23年度より引き続き行ってきた取組の中間総括を行うにあたり「鎌倉草創塾」の枠組みを活用した。オープンデータの推進など新たに取り組むべき課題については、関係課との連携による事業の開始とともに、鎌倉草創塾での研究により推進指針作りの提言につなげるなど、様々な形での調査研究体制を整えた。鎌倉ウェディングでは、公共施設の活用を中心とした試行体制を設計し、事業開始につなげた。		<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題 新たな課題	長寿社会のまちづくりは産官学民による共同研究の最終年度であり、これまでの研究を踏まえた実践と今後の活用や展開について考察を示す。鎌倉ウェディングは試行的な事業実施から発展的な展開に向けての検討を進める。新たな課題として、国が策定したまち・ひと・しごと創生長期ビジョン及び総合戦略に従い、人口ビジョンの策定にあたる。経営企画課との事務分担及び連携により、事業を進めていく。		
効 率 性	事業費に削減余地はないか	1. ある	
	関連・類似事業との統合はできないか	2. 統合に向けた検討は可能	
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある	
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいのか	2. 廃止・休止による影響は小さいがある	
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である	
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいのか	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している	
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	○.協働実施済	○-1. 既に市民等と協働して事業を実施しているが、協働のあり方等の見直しが必要である 協働実施済の場合のパートナー 今泉台町内会等
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他	見直しの内容 事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	政策創造課で行っている事業については、研究費の拡大によって課題解決を目的とする項目は特段ないことから、予算措置は現状維持を想定するが、柔軟な思考で都度予算措置について検討していく必要がある。
総 評	中長期的・庁内横断的な課題を中心に最適な形での調査研究体制を組み、平成27年度は「地方創生」に係る人口ビジョンの策定を中心としながら、引き続き抱える課題について研究を進めていく。		

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)

比較事項	(例年記載なし)								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方									

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	政策研究の取組件数	単位	本	指標の傾向	⇒	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
市政全般に関わる基礎調査及び庁内基礎データを蓄積するとともに、データに基づく施策展開・活用促進を推進するため。	目標値	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
	実績値	4.0					
	達成率	133.3%					
指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						
指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						
指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						
指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	各年度ごとに課題に対する成果設定を明確に定め研究を進める観点から、目標値及び達成率は概ね100%とする。第3期基本計画の進行においても基本計画の将来都市像の実現を目指し、基礎データの蓄積及び分析、政策立案に努める。						

● 事業に関する特記事項

<input type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	---